

残留農薬検査(その3)

食品中に残留する農薬などが、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、平成29年10月～11月上旬に食品専門監視班、各区福祉保健センターが収去した農産物等の検査結果を報告します。

1 市内産農産物

10月に収去されたこまつな(2検体)、キャベツ、さつまいも、じゃがいも、とうがん、なす及びほうれんそう(各1検体)の8検体、11月に収去されたこまつな(4検体)、玄米(3検体)、さつまいも(2検体)、かぶの根、キャベツ、さといも、だいこんの根、だいこんの葉及びほうれんそう(各1検体)の15検体、合計23検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。こまつな3検体及びほうれんそう1検体の計4検体からクロチアニジン等5種類の農薬が0.02～0.26ppm検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

2 国内産農産物

10月に収去されたキャベツ、こまつな、さつまいも、じゃがいも、だいこんの根、日本なし及びはくさい(各1検体)の合計7検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。キャベツ、こまつな、さつまいも、だいこんの根、日本なし及びはくさいの計6検体から、アセタミプリド等8種類の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で複数の農産物から検出された農薬の概要については、5ページの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H29年10月～11月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農産物						
かぶの根	横浜市	1	0			
キャベツ	横浜市	2	0			
玄米	横浜市	3	0			
こまつな	横浜市	6	3	クロルフェナピル	0.02	5
				チアメトキサム	0.05	5
				フルフェノクスロン	0.26	10
さつまいも	横浜市	3	0			
さといも	横浜市	1	0			
じゃがいも	横浜市	1	0			
だいこんの根	横浜市	1	0			
だいこんの葉	横浜市	1	0			
とうがん	横浜市	1	0			
なす	横浜市	1	0			
ほうれんそう	横浜市	2	1	* クロチアニジン	0.08	40
				シアゾファミド	0.05	25
国内産農産物						
キャベツ	群馬県	1	1	プロシミドン	0.01	2
こまつな	茨城県	1	1	フルフェノクスロン	0.01	10
さつまいも	茨城県	1	1	クロルピリホス	0.08	0.1
じゃがいも	北海道	1	0			
だいこんの根	群馬県	1	1	ホスチアゼート	0.02	0.2

表1 残留農薬検査結果(続き)

(H29年10月～11月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)	
国内産農産物(続き)							
日本なし	茨城県	1	1	{ アセタミプリド ボスカリド	0.01	2	
						0.01	3
はくさい	長野県	1	1	{ アセタミプリド クロチアニジン ジメトモルフ ボスカリド	0.03	0.5	
						0.02	2
						0.09	2
						0.14	40

* 中括弧({})は同一検体からの検出

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				
		A*1	B*1	C*1	D*1	E*1			A	B	C	D	E
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	○*2	○	-*2	-	-	シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和*)	0.005	○	○	○	○	○	シアノホス	0.01	○	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	○	ジウロン	0.01	○	○	○	○	-
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	○	ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	○	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	○	○	○	ジクロフェンチオン	0.01	○	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	○	ジクロラン	0.01	○	-	-	-	-
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	ジコホール	0.01	○	○	○	○	○
アニロホス	0.01	○	○	○	○	-	シハロトリン	0.01	○	○	○	○	○
イプロバリカルブ	0.01	○	○	○	○	○	ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	-	○
イプロベンホス	0.01	○	○	○	○	○	シフルトリン	0.01	○	-	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	シフルフェナミド	0.01	○	○	○	-	○
インダノファン	0.01	○	○	○	○	-	シベルメトリン	0.01	-	-	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	○	ジメチリモール	0.01	○	-	-	○	○
エチオン	0.01	○	○	○	○	○	ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	-
エトプロホス	0.005	○	○	○	○	○	スルプロホス	0.01	-	○	○	○	○
エトリムホス	0.01	○	○	○	○	○	ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○
エポキシコナゾール	0.01	-	-	-	○	-	ダイムロン	0.01	○	○	○	○	○
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	○	-	○	-	-	チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	○
エンドリン	0.005	○	-	○	-	○	チアメトキサム	0.01	○	○	-	○	○
オキサジクロメホン	0.01	○	-	-	-	-	テトラクロルビンホス	0.01	○	○	○	○	○
オキサミル	0.01	○	○	○	○	○	テトラジホン	0.01	○	○	○	○	-
オキシカルボキシシン	0.01	○	○	○	○	○	テブチウロン	0.01	○	○	○	○	-
オリザリン	0.01	-	-	○	○	○	テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
カズサホス	0.01	○	○	○	○	○	テフルトリン	0.01	○	○	○	○	○
カフェンストロール	0.01	-	○	○	○	○	トラルコキシジム	0.01	○	○	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	○	○	トリチコナゾール	0.01	-	○	○	○	-
カルプロパミド	0.01	○	○	○	○	-	トリフルムロン	0.01	○	○	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	○	○	トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○
クロキントセット-メキシル	0.01	○	○	○	○	○	ノバルロン	0.01	○	-	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	○	-	パラチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロマフェノジド	0.01	-	○	○	○	○	パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○
クロリダゾン	0.01	○	○	○	○	○	ハルフェンブロックス	0.01	○	-	-	-	-
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○	ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ピラクロストロビン	0.01	-	○	-	-	-
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	○	ピラゾリネート	0.01	○	-	-	○	○
クロルフェンゾン	0.01	○	○	○	○	○	ピリフタリド	0.01	○	○	○	○	○
クロルフェンビンホス	0.01	○	○	○	○	○	ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	○
クロロクスロン	0.01	○	○	○	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	-	ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	-	○	○	○
フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	○	ブロモプロピレート	0.01	○	-	-	-	-
フェリムゾン	0.01	-	○	-	-	-	ヘキサフルムロン	0.01	-	○	-	-	-
フェンアミドン	0.01	○	○	○	○	-	ヘキシチアゾクス	0.01	○	-	-	-	-
フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	-	○	-	-	-
フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○
フェントエート	0.01	○	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○	○
フェントラザミド	0.01	○	○	○	○	-	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	○
フェンバレレート	0.01	○	-	○	○	-	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○	○
フェンピロキシメート	0.01	○	-	○	○	○	ペントキサザン	0.01	○	○	-	-	-
フェンプロバトリン	0.01	○	-	○	○	○	ボスカリド	0.01	-	○	○	-	○
ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○	-
ブタミホス	0.01	○	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○	○
フラメトピル	0.01	○	○	○	○	-	メトキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
フルントリネート	0.01	○	-	○	○	-	メビンホス	0.01	○	○	○	○	○
フルバリネート	0.01	○	-	○	○	○	モノリニュロン	0.01	○	○	○	○	-
フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	○	ラクトフェン	0.01	○	○	○	-	○
フルリドン	0.01	○	○	○	○	○	リニュロン	0.01	○	○	○	○	○
プロシミドン	0.01	○	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.002	○	○	○	○	-
プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	-	-	○	○	○

*1 A:玄米 B:こまつな、だいごんの葉、ほうれんそう

C:かぶの根、キャベツ、だいごんの根、とうがん、なす、はくさい D:さつまいも、さといも、じゃがいも

E:日本なし

*2 ○:実施、-:実施せず

*3 DDTは*p,p'*-DDE、*p,p'*-DDD、*o,p'*-DDT及び*p,p'*-DDTの和

【農薬解説】

○アセタミプリド

『モスピラン』などの商品名で販売されている殺虫剤で、広範囲の害虫に対して効果があります。今年度実施した検査において、トマト(市内産)からも検出されました。

○クロチアニジン

『ダントツ』などの商品名で販売されている殺虫剤で、広範囲の害虫に対して低薬量で効果があります。特に吸汁性害虫に対して高い殺虫作用があり、効果は長期間持続します。今年度実施した検査において、きゅうり及びなす(市内産)からも検出されました。

○フルフェノクスロン

『カスケード』などの商品名で販売されている殺虫剤で、幼虫の脱皮を阻害します。チョウ目害虫、ハダニ類、ヨコバイ、アザミウマ類の幼虫に対して高い防除効果を示し、効果は長期間持続します。今年度実施した検査において、レタス(市内産)からも検出されました。

○ボスカリド

『カンタス』などの商品名で販売されている殺菌剤で、菌核病菌や灰色カビ病菌などの感染を防ぐ効果があります。今年度実施した検査において、トマト(市内産)からも検出されました。

※参考文献

- ・一般社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2016年版

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】